



長崎県島原半島の妙見岳（左山頂）と妙見カルデラ（左谷）を眺められる道を歩く（平成25年12月）

1975年に九州自然歩道の整備が始まって39年、全線開通してから34年が経ちました。このコラムでは、開通当時である1977年に発行された「山びこの径（九州自然歩道）（西日本新聞社）」などをひもときながら、九州自然歩道の様々な風景やその移り変わりをご紹介します。

今回は「雲仙地域」。1934年に霧島地域とともに日本で最初に国立公園に指定され、雲仙国立公園（現・雲仙天草国立公園）や霧島国立公園（現・霧島錦江湾国立公園）が誕生しました。2005年頃から、雲仙岳の西南斜面中腹83mが形成。「山びこの径」に位置する雲仙温泉街の古湯地区も、和を基調とした大正の街並みに統一されてきました。また新しい、現在も立ち入り禁止区域です。湯地区は、「欧風高原リゾート」としての雰囲気で作られています。街並みの統一によって、異国情緒あふれる雰囲気味わえます。

雲仙地域の九州自然歩道は、田代原から妙見登山路に入り、国見岳入り口、普賢岳入り口を通る周回ルート。もみじの季節になったら茶屋が出たという「紅葉茶屋」やあざみ谷を下り、仁田峠へと出ます。そこから昔は雲仙岳へ登るだけ一つの道だったという池の原を抜け、雲仙温泉街へとつながっています。

1980年当時、仁田峠には遊覧馬がいて、カッポカッポと展望の所へ駐車場を往復していました。雲仙地獄を歩くと、叫びわめく地獄に似た噴気の音と姿から呼ばれている大叫喚地獄で、「タマゴはい」と声をかけられたそう。

（「山びこの径」より）

当時から温泉街として有名だった雲仙地域が変わったのが、1990年でした。11月17日の普賢岳噴火を皮切りに噴火を繰り返され、島原半島の特に東側に甚大な被害を及ぼしました。そして雲仙岳の最高峰である平成新山（1483m）が形成。「山びこの径」に位置する雲仙温泉街の周回ルートを通った。普賢岳の周回ルートを通った。普賢岳の周回ルートを通った。普賢岳の周回ルートを通った。



## 九州自然歩道今昔物語

## 各地のイベント情報

佐賀

**自然歩道ボランティア活動 八幡岳**  
 開催地：佐賀県 八幡岳  
 日時：2015年2月21日（土）  
 費用：2,000円（現地集合無料）  
 内容：偶数月に行われる九州自然歩道清掃ボランティア。今回は八幡岳で行います。  
 問合せ・申込先：NPO法人SAGAアウトドアガイドクラブ  
 TEL：0952-29-8498

鹿児島

**九州自然歩道を歩こう76回 野間半島へ**  
 開催地：鹿児島県 野間半島  
 日時：2015年1月11日（日）  
 費用：9,300円  
 内容：奇数月に行われる九州自然歩道一周ツアー。皿倉山から西ルート歩いて、今回は鹿児島本土の最西端の野間半島まで歩きます。  
 問合せ・申込先：NPO法人SAGAアウトドアガイドクラブ  
 TEL：0952-29-8498

熊本

**第2回上天草トレッキングフェスティバル**  
 開催地：熊本県 上天草市  
 日時：2015年1月31日（土）～2月22日（日）  
 費用：各コースあたり1,500円（未就学児無料）  
 内容：上天草市内に点在する山々をトレッキングし、地元の温かな振る舞いや催しを楽しみます。各山の頂上からは海を間近に臨む絶景が広がっています。  
 問合せ・申込先：天草四郎観光協会  
 TEL：0964-56-5602



**ちよっと寄り道 「小浜ちゃんぽん」**  
 島原半島の西側の海沿いの小浜温泉。温泉熱を利用したエネルギー発電で注目されている小浜はちゃんぽんでも有名です。  
 あっさり系のスープに太麺の小浜ちゃんぽん、美味しかったな～。

## 環境省および各県のお問合せ先

九州地方環境事務所 国立公園・保全整備課 TEL：096-322-2412 FAX：096-322-2447 MAIL：REO-KYUSHU@env.go.jp	福岡県 自然環境課 自然公園係 TEL：092-643-3369 FAX：092-643-3357 MAIL：shizen@pref.fukuoka.lg.jp
佐賀県 有明海再生・自然環境課 TEL：0952-25-7080 FAX：0952-25-7521 MAIL：ariakekaisaisei@pref.saga.lg.jp	長崎県 自然環境課 ふれあいづくり班 TEL：095-895-2383 FAX：095-895-2569 MAIL：s09040@pref.nagasaki.lg.jp
大分県 観光・地域振興課 地域磨き班 TEL：097-506-2116 FAX：097-506-1729 MAIL：a10820@pref.oita.lg.jp	熊本県 自然保護課 自然環境・公園班 TEL：096-333-2274 FAX：096-384-5135 MAIL：shizenhogo@pref.kumamoto.lg.jp
宮崎県 自然環境課 TEL：0985-44-2624 FAX：0985-38-8489 MAIL：shizen@pref.miyazaki.lg.jp	鹿児島県 観光課 観光地づくり係 TEL：099-286-2994 FAX：099-286-5580 MAIL：kanko@pref.kagoshima.lg.jp

## 編集後記

第2号の「九州自然歩道通信」いかがでしたか。第2号も多くの方々に寄稿していただき、完成させることができました。80周年記念登山会のレポートやフォーラム副代表の歩く地域づくりの話、熊本と霧島連山で活動されている方々の話を掲載しています。ご寄稿・情報提供して頂いた皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。ございました。

四コマまんがはノンフィクションですので、少しでも事務局の日常（？）が伝わればと思います。私は、今冬も雪の英彦山に登ってこようと思っっています。一面の銀世界、楽しみます。

次号は3月に発行予定です。お楽しみに！（福島優）

## 事務局お問い合わせ

九州自然歩道フォーラム（特定非営利活動法人グリーンシティ福岡内）  
 〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院 4-5-2-202 TEL/FAX：092-215-3913 メール：info@greencity-f.org  
 URL：https://www.facebook.com/kyusyulongtrailforum（九州自然歩道フォーラム公式FBページ）  
 URL：http://www.greencity-f.org/article/15070677.html（フォーラムご入会案内ページ）

# 活動報告 フォーラムのお仕事

9月27日、第7回目となる「九州自然歩道フォーラムミーティング」を宮崎で開催しました。フォーラムでは、年に2回、ミーティングを開催しています。今回は、フォーラムメンバーに加え、九州地方環境事務所、宮崎県、長崎県の方



↑今回の会場は宮崎県庁。環境省や県の方と意見交換等を行いました。

さらに環境省が東北に整備中のみちのく潮風トレイルの担当の方も参加されました。主なテーマは、南阿蘇でのウォークイベントや通信紙、踏破証制度等についての内容や今後の方向性、そしてみちのく潮風トレイルの話を担当の方から聞きました。潮風トレイルでは、市町村とタッグを組んで、踏破証制度を構築し、バッグやワッペンがもらえる仕組みをつくっています。九州自然歩道にも大変参考になる話でした。

そしてもう一つ、全国・自然歩道を歩こう月間中の10月25日に「第5回九

州自然歩道ウォーク〜南阿蘇外輪山ノ編」を開催しました。今回は、南阿蘇外輪山の中坂峠〜黒岩峠、そして清栄山に登るコース。九州自然歩道フォーラムがキーワードにしている「冒険」の雰囲気味わえる道でした。次回は冒険心をそそるようなコースをご紹介します。と考えています。



↑阿蘇山を眺めながら、凸凹の南外輪山！天気も良くて、紅葉もきれいなときに歩きました。

## イベントレポート 九州を歩いてみた

阿蘇くじゅう国立公園は昭和9年（1934年）に指定された日本で最も古い国立公園のひとつです。記念すべき80周年となる今年、九州登山のメッカくじゅう連山を舞台に、安全登山をテーマに、九州自然歩道を歩く1泊2日の記念登山会を開催しました。

当日は、登山初心者を中心とした42名の参加者と地元ガイド、環境省レン

## フォーラム副代表より 九州をグルッと一周！



寄稿：山口 久臣 さん  
九州自然歩道フォーラム副代表  
一般社団法人 IOE 代表理事

よくよく考えてみると地球上に生息するあらゆる生き物たちの中で、二足歩行による「歩く」ことは、人間にとつての特権とも云える行為である。その「歩く」ことが、今時は、いろいろな付加価値が付く様になって来た。歩く種目として、ウォーキング、トレッキング、エコツーリズム、さるく、ノルディック・ウォーク、オリエンテーリング、ロゲーニング、リパートレッキング、山登り等等。また、「歩く」コースとして、自然歩道、ネイチャートレイル、オルレ、フットパス等々と実に多種多様である。これらの「歩く」行為を好んで実践する日本人が、近年で

## フォーラム事務局の日常



ひげさん まっちゃん ゆうくん



「阿蘇を歩こう！！」プロジェクト  
南阿蘇村ウォーク・トライアル



「阿蘇を歩こう！！」プロジェクト  
「阿蘇どまんなかフットパス」の開発

「九州自然歩道清掃歩き」  
3年前前だったと思いますが、高原町の霞神社から都市までの清掃歩きしたのを思い出しました。九州地方環境事務所

### フォーラム会員 募集中！

九州自然歩道フォーラムでは、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。魅力いっぱい自然や歴史、文化をつないで九州を一つにむすぶ九州自然歩道。一緒に歩き、交流しながら九州を盛り上げていきませんか？

オリジナルグッズ特典つき！詳しくはお問合せ先にある入会のご案内ページをご覧ください。

ジャーほか総勢70名が参加しました。1日目は長者原の80周年記念式典会場を出発し、雨ヶ池を越えて坊ガツルまで紅葉間近の九州自然歩道を登りました。夜は法華院温泉山荘にて座談会が催され、法華院の弘藏社長はじめゲスト講師の方々から、くじゅうの歴史や安全登山



↑法華院温泉山荘の夜は座談会で盛り上がりました！

0億円にもなると云う。まさに「歩こう！！」で地域づくりである。私は、九州自然歩道も是非この様な「歩こう！！」で、地域づくりにつながる様な仕組みづくりと仕掛けをして行きたいと常々考えているところである。

所・宮崎県自然環境課の方と霧島ネイチャーガイドクラブと一緒に作業しました。農道や住宅地の中の九州自然歩道、地域の方は九州自然歩道の意識が薄れていて、道路際には結構塵や空き缶が落ちていました。自然歩道の位置付を確認し、ウォークラリーなどのイベントを行い、周知をもっとするべきではないだろうか。



寄稿：古園 俊男さん  
霧島ネイチャーガイドクラブ



寄稿：立川 浩司さん  
NPO法人みずのとら BELL 隊

### 「脊振ミニ縦走の思い出」

自転車で富田山登って居る今では考えられない記事に誘発されて椎原峠經由金山三瀬峠の自然歩道コースを辿ったのは、もう30年以上前になります。

椎原峠までの登山道で原付きバイクの乗り捨てて有るのを横目で見ながら鬼ヶ鼻岩の絶景を楽しみ三瀬峠から車道を気持ちよく下って来ましたが、まだMTBなど無い時代でランドナーでもかなり行けたもんです。現代の自転車で登山道乗り入れ禁止じゃなく、のんびりした昔の話ですが。

について講演いただきました。ギター演奏もあり、宿泊者を交え約140名で思い出に残るひとときを過ごし、80周年を盛大に祝いました。2日目は法華院から鉾立峠、佐渡窪、鍋割坂を越え、久住高原の風景を楽しみながらゴールのガンジー牧場を目指しました。あいにくの雨でしたが、雨の中の登山の心得を共有することが出来ました。

多くの方々のご協力をいただき、楽しく、盛大に、そして安全に記念登山会を行うことができました。参加者の皆様、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



寄稿：新田 一仁 さん  
九州地方環境事務所  
くじゅう自然保護官

### 情報提供・寄稿・おたより大募集！

九州自然歩道に関する情報や体験談、疑問、質問なんでもOKです！いただいた情報で「九州自然歩道通信」が元気になります。

おたよりをお待ちしております！